

問1 焼き物ができるまでの正しい手順として、適切なものはどれでしょう。

1. かまで焼く → 粘土をこねる → 乾燥させる
 2. 乾燥させる → 粘土をこねる → かまで焼く
 3. 粘土をこねる → 乾燥させる → かまで焼く
 4. 粘土をこねる → かまで焼く → 乾燥させる

問2 焼き物まつりや工芸品フェアのようなイベントを開くことで、伝統産業にはどのような良い効果が期待できますか。

1. 工場働く人の数を減らすことができる
 2. インターネットを使う必要がなくなる
 3. 観光客を呼び込み、地域の産業の魅力をアピールできる
 4. 日本全国の焼き物の値段を統一できる

問3 歴史的な建物や町並みを守りながら、そこを訪れる人々に地域のよさを知ってもらうための仕事を何といますか。

1. 漁業
 2. 工業
 3. 観光業
 4. 農業

問4 歴史的な資料や展示物を見学するために、地域にあるどのような場所へ行くのが効果的ですか。

1. 駅やバスターミナル
 2. スーパーマーケット
 3. 郵便局
 4. 資料館や博物館

問5 美しい姿で有名な姫路城を、ずっと後の時代まで残すために、1878年に国へ「このお城を守るべきだ」と意見を出した人物はだれでしょう。

1. 豊臣秀吉
 2. 中村重遠
 3. 織田信長
 4. 徳川家康

問6 現地で見つけたことや疑問に思ったことを、あとで整理できるように記録する工夫として適切なものはどれですか。

1. デジタルカメラで写真を撮り、メモを取る
 2. 何も記録せずに、すべて頭の中だけで覚える
 3. その場で感じたことだけを心にとどめる
 4. 有名な観光地で売っているお土産を買う

問7 歴史ある建物を、長い間そのままの姿で残すために欠かせない活動を何といますか。

1. 修正
 2. 修理
 3. 修学
 4. 修業

問8 世界的に見て、とても価値が高いと認められて登録されるものを何といますか。

1. 歴史公園
 2. 重要文化財
 3. 町並み保存地区
 4. 世界遺産

問9 なぜ、人々は古い建物を何度も修理して大切に守り続けるのでしょうか。その一番の理由として正しいものはどれですか。

1. 昔の人々の暮らしや、地域の歴史を次世代へ伝えるため
 2. 建物の場所が観光地として人気になり、利益が出るから
 3. 建物を新しく建て直すよりも、お金がかからないから
 4. 新しい技術を試すための実験の場として使うため

問10 昔の村の開発の様子を調べるとき、なぜ「聞き取り」や「古い道具」など、いろいろな方法を組み合わせる必要があるのでしょうか。

1. 調べ方を変えることで、昔の人のくらしをより深く、正確に知るため
 2. 古い道具を集めると、地域の歴史をお金に変えることができるから
 3. 昔の人の考え方は、本に書いてあることと決まっているから
 4. 写真や地図だけでは、建物がいつ建てられたか分からないから

問11 その土地にとって歴史的に価値があり、大切に守られている古い建物や町並みのことを何といますか。

1. 公共施設
 2. 文化財
 3. 特産品
 4. 観光地

問12 姫路城が昔のままの姿で、日本で最初の世界遺産として残されているのはなぜだと考えられますか。

1. 誰にも知られず隠されていたから
 2. 住民や行政が協力して長い間修理や保存してきたから
 3. 戦争で一度も攻撃を受けなかったから
 4. 一度も修理をしたことがないから

問13 地域の昔の開発について調べる際、最も確実に納得できる調べ方はどれですか。

1. インターネットで、だれかが書いた感想だけを信じる
 2. 古い写真だけを見て、どんな建物があったかを確認する
 3. 昔の道具や記念碑（きねんひ）を見たり、詳しい人から聞き取りをしたりする
 4. 今の地図だけを見て、何が変わったかを確認する

問14 古い建物や町並みを「文化財」として大切に残すことで、どのような良いことがあると考えられますか。

1. 町の中にたくさんの工場を建てることができる
 2. 新しいビルを建てる場所が広がる
 3. 古い建物に住む人の家賃が安くなる
 4. その土地の歴史や誇りを大切にしたら、特色あるまちづくりができる

問15 地域の昔の様子を、当時を知る人から直接聞くための方法はどれですか。

1. インターネットで検索する
 2. 地域の人にインタビューを行う
 3. 図書館で歴史の本を探す
 4. 観光パンフレットを読む

問16 博物館で見学した内容をしっかりと理解するために、展示物を見ながら行うと良いことは何ですか。

1. 館内のすべてを走り回って探検する
 2. パンフレットの絵をすべて塗りつぶす
 3. 展示物について学芸員に質問したり、メモを取ったりする
 4. 展示物に直接さわって確かめる

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 3 粘土をこねる → 乾燥させる → かまで焼く	焼き物は、まず柔らかい粘土をこねて好きな形を作り、そのあとにしっかり乾燥させることが重要です。水分が抜けて形が安定してから高温のかまに入れることで、丈夫な焼き物が完成します。この順番を間違えると、うまく形が残らなかつたり割れたりしてしまいます。
問2	答え 3 観光客を呼び込み、地域の産業の魅力をアピールできる	イベントを開催して多くの観光客を招くことは、その土地の伝統産業に直接ふれてもらう良いチャンスになります。実際に製品を見たり作ったりする体験を通じてファンが増えることで、伝統産業を守る力が高まります。
問3	答え 3 観光業	地域にある歴史的な建物や伝統的な町並みをいかし、そこを訪れる人々に魅力を伝える仕事や産業のことを観光業といいます。観光業は、単にお金もうけをするだけでなく、その土地の歴史や文化を大切に守り伝えていく役割も持っています。
問4	答え 4 資料館や博物館	資料館や博物館には、その地域で昔使われていた道具や、歴史的な出来事に関する品物が大切に保管されています。本物を実際に見たり、専門家から詳しい話を聞いたりすることができるため、歴史を学ぶのに最適な場所です。
問5	答え 2 中村重遠	中村重遠は、荒れ果てかけていた姫路城を大切に保存しようと立ち上がり、国に働きかけました。この行動がきっかけとなり、姫路城は長い年月を経てもその美しい姿を保つことができ、後の世界遺産登録へとつながっていきました。
問6	答え 1 デジタルカメラで写真を撮り、メモを取る	現地 で得た情報を正確に残すためには、写真で視覚的に記録し、気づいたことや疑問をメモしておくことが重要です。これらの記録を後から見返すことで、地域の歴史や特徴を詳しくまとめることができます。
問7	答え 2 修理	建物は時間がたつにつれて古くなり、傷んでしまうことがあります。そのため、専門的な技術を使って手入れを行い、良い状態を保つ活動を「修理」といいます。掃除をしてきれいに保つこととは違い、建物の形や仕組みを長持ちさせるための大切な作業です。
問8	答え 4 世界遺産	文化財の中でも、特に世界中で価値が認められたものを「世界遺産」と呼びます。世界遺産に選ばされると、世界中の人々がその価値を知り、より大切に保存しようとする動きが高まります。
問9	答え 1 昔の人々の暮らしや、地域の歴史を次世代へ伝えるため	歴史ある建物には、その地域がどのように発展してきたかという証跡や、先人たちの知恵が詰まっています。単に建物そのものを残すことだけが目的ではなく、その建物を守ることを通じて、地域の文化や歴史を未来の子どもたちへ受け継いでいくことに大きな意義があります。
問10	答え 1 調べ方を変えることで、昔の人の暮らしをより深く、正確に知るため	写真や現在の地図などの一部の情報だけでは、開発が進められた本当の理由や、当時の人々の苦労や思いまでは分かりません。多角的に資料を集めることで、当時の社会がどのような様子だったのか、なぜ開発が必要だったのかという背景を、広い視野で深く理解できるようになります。
問11	答え 2 文化財	地域に残る古い建物や町並みなど、歴史的に価値があつて、みんなで大切に守っていくべきものを「文化財」といいます。これらは、その土地の歴史を知るための大切な宝物です。
問12	答え 2 住民や行政が協力して長い間修理や保存してきたから	姫路城は、中村重遠による保存の呼びかけや、その後の「昭和の大修理」など、多くの人々が協力して何度も修理を重ねてきました。このような人々の努力があつたからこそ、歴史的な価値が守られ、世界遺産として認められることになりました。
問13	答え 3 昔の道具や記念碑（きねんひ）を見たり、詳しい人から聞き取りをしたりする	一つの資料だけでは、開発の目的や当時の暮らしの様子を正しく知ることはできません。昔の道具や記念碑などの「形として残っているもの」と、その時代を知っている人の「聞き取り」など、複数の情報を組み合わせることで、開発がなぜ行われたのかという経緯を正確に理解することができます。
問14	答え 4 その土地の歴史や誇りを大切にしたい、特色あるまちづくりができる	文化財を保存することは、ただ古いものを残すだけではありません。その場所の歴史や文化を大切にすることで、その土地ならではの良さを生かした、特色ある魅力的なまちづくりを進める力になります。
問15	答え 2 地域の人にインタビューを行う	本やインターネットには記録されていない、その人だけが知っている昔の暮らしや出来事の話を知ることができます。直接お話を聞くことで、当時の人々の気持ちや様子をより身近に感じることができます。
問16	答え 3 展示物について学芸員に質問したり、メモを取ったりする	展示資料を見るだけでなく、気がついたことをメモしたり、スケッチを描いたりすると理解が深まります。さらに、わからないことを専門家である学芸員に質問することは、より深く歴史や資料について知るための非常に効果的な方法です。